

令和6年度

武雄市教育委員会点検評価報告書

(令和5年度分)

武雄市教育委員会

はじめに

武雄市教育委員会では、武雄市教育の現状と課題や、武雄市教育大綱「Move Forward」の基本指針を踏まえ、「武雄市の教育」の基本目標として、

「乳幼児期からつながる主体的で対話的な深い学びの推進」

「市民一人ひとりの生きがいを高める生涯学習の推進」

「明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造」

「豊かな学びを支える教育環境と子育て環境の整備」

「郷土愛の醸成と協働する市民総参加による教育の推進」

の5つを掲げ、各種の事務事業に取り組んできました。

一方、教育委員会が効果的な教育行政を推進していくためには、自らの活動を点検・評価し、公表することが重要です。

このため、平成19年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成20年度から毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況について、点検及び評価を行い、その結果を報告書として、議会に提出するとともに、市民の皆様へ公表することとされています。

これを受けて教育委員会では、令和5年度に実施した各種の事務事業が効率的かつ、有効的に行なわれてきたかを点検・評価し、課題や取組みの方向性について、点検評価報告書としてまとめました。

この点検・評価結果を、市民の皆様へ公表するとともに、今後の武雄市教育行政の一層の充実、推進へとつなげていきたいと考えています。

皆様のご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和6年9月

武雄市教育委員会

＜ 目 次 ＞

1	点検・評価に当たって	2
	・令和5年度武雄市の教育 施策の体系	3
2	令和5年度の具体的施策、評価委員からの指摘事項・ご意見	
	・教育委員会評価及び評価委員評価一覧表（令和5年度）	4
	・意見書	5
	・基本目標Ⅰ 乳幼児期からつながる主体的で対話的な深い学びの推進	7
	・基本目標Ⅱ 市民一人ひとりの生きがいを高める生涯学習の推進	11
	・基本目標Ⅲ 明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造	13
	・基本目標Ⅳ 豊かな学びを支える教育環境と子育て環境の整備	15
	・基本目標Ⅴ 郷土愛の醸成と協働する市民総参加による教育の推進	18

1 点検・評価に当たって

1 点検評価の対象

今回実施した点検評価の対象は、令和5年度武雄市の教育基本方針に基づき実施した学校教育関係、子育て関係、生涯学習関係、歴史・文化関係及び地域との連携等の各種事務事業を対象としました。

2 点検評価の方法

- (1) 点検評価に際しては、必要性、効率性、有効性、公平性等の観点から分析し、課題や問題点、今後の改善点について示すこととしました。
- (2) 点検評価に際し、その客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など5人で構成する教育委員会評価委員会を設け、様々なご意見、助言をいただきました。

評価委員会委員の方々は、次のとおりです。

委 員 長	松 尾 敏 実
副委員長	松 尾 政 勲
委 員	馬 場 桂 子
委 員	下 村 恵美子
委 員	田 中 友 子
	(順不同、敬称略)

令和5年度 武雄市の教育 施策の体系



教育委員会評価及び評価委員評価一覧表（令和５年度）

項 目		評価委員 評価
I－１	確かな学力の育成	A
I－２	教育ＤＸ活用教育・官民一体型学校づくりの推進	A
I－３	豊かな心の育成	A
I－４	たくましい身体の育成	A
I－５	幼児教育の充実と幼・保・小・中・高相互連携の推進	A
I－６	教職員の資質や指導力の向上	A
I－７	多様化する社会の進展に対応した教育の推進	A
II－１	明日を担う青少年教育の推進	A
II－２	成人教育の推進と人づくり・地域づくり	A
III－１	文化活動の振興と担い手の育成	A
III－２	文化財の保護・伝承と活用	A
IV－１	安全・安心な教育環境の整備	A
IV－２	教育施設・設備の充実	A
IV－３	子育て支援の推進	A
IV－４	子どもの貧困対策	A
IV－５	働き方改革の推進	A
V－１	地域のよさや伝統を生かしたふるさと教育の推進	A
V－２	学校・家庭・地域・諸機関・事業所などとの連携の推進	A
V－３	教育委員会の積極的な情報公開	A

評価４段階	A	達成	80%以上
	B	ほぼ達成	50～79%
	C	やや不十分	20～49%
	D	不十分	19%以下

意見書

令和5年8月に第3期武雄市教育大綱『Move Forward』未来はわたしたちが創る」が策定され、基本理念「もっと、こどもまんなか」、及び指針①「地域社会で育ち合う」、指針②「誰一人取り残さない」、指針③「希望を持ち夢を実現する」が定められました。これらをもとに、令和5年度武雄市教育委員会では、5つの基本目標を掲げ、諸施策に取り組んで来られました。

本意見書は、武雄市教育委員会が令和5年度に実施した教育委員会活動及び事務事業の自己点検・自己評価結果を踏まえた「武雄市教育委員会点検・評価シート」及び関連資料に基づいて、武雄市教育委員会評価委員会が評価したものです。

具体的には、令和6年7月8日、7月24日及び8月8日の3回にわたり評価委員会を開催し、事務事業の目標、自己点検・自己評価の視点や方法の適切さ、目標の達成度に対する自己評価の適切さ、課題、改善策等について検討を行いました。

その結果、評価委員会としての諸施策の評価は、目標に対し概ね達成していると判断しました。個々の事業に対しては、若干の意見を付していますので、今後の改善の参考にしてください。

また、武雄市教育委員会においては、教育・保育施設、学校、家庭、地域が相互に連携しつつ、社会全体で教育的風土の醸成を図るため、様々な事業が展開されており、創意工夫を行いながら事業実施に向けて努力されている様子がよくわかりました。その上で、今後、更なる施策の充実を図るため、次の点に留意していただくようお願いします。

- 児童生徒の確かな学力の育成については、継続して学習状況調査の結果を分析し、指導の充実に努めてください。また、ICTを活用した教育の充実については、学習用端末やデジタル教科書など環境整備はよく取り組まれており、今後、さらに学力向上や個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けて効果的な活用方法を研究するなど取り組みを進めてください。
- 児童生徒の生き抜く力の育成の観点から道德教育の充実など豊かな心の育成やたくましい身体の育成に一層取り組んでください。
- 官民一体型学校の推進については、令和5年度に設置された官民一体型学校評価委員会の提言や、令和6年3月に示された令和7年度以降の在り方に関する方針を踏まえて、各学校の意向も尊重しながら施策を進めてください。
- 不登校対策については、学校の組織的対応や関係機関等との連携、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用などに取り組まれています。引き続き対応する人員の確保と対策の充実に取り組んでください。

- 文化活動の振興や文化財の保護・活用、伝統文化の継承と発展への支援などに一層努めてください。また、地域の文化や歴史を活用した教育活動の推進や地域に根ざした学校運営の推進により、郷土を愛する心の醸成に一層努めてください。
- 安全・安心な教育環境の整備については、学校における安全教育の充実や学校と地域が連携した活動などに積極的に取り組んでください。
- 子育て支援の推進や子どもの未来応援計画の推進を図り、子育てしやすい環境の整備に一層努めてください。
- 学校・家庭・地域社会が相互に連携しながら生涯学習の推進を図るとともに、市民総参加による教育の推進に一層努めてください。

教育行政を取り巻く環境は、日々変化しています。武雄市教育委員会が、教育行政を取り巻く環境の変化を的確に把握するとともに、今回実施した点検・評価を踏まえ、今後の武雄市教育行政の一層の充実・発展に取り組まれることを願っています。

令和6年8月8日

武雄市教育委員会

教育長 松尾 文雄 様

武雄市教育委員会評価委員会

委員長 松尾 敏実

基本目標 I 乳幼児期からつながる主体的で対話的な深い学びの推進

【重点事項 1】確かな学力の育成

【重点事項 1】 確かな学力の育成		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1)学力の現状把握と指導の充実		A B A	A	●成果ができていないのではないか。 ●確かな学力がつく訓練などはされているか。 ●英語のポイントアップに期待する。 ●正答率に拘るのであれば小学校も教科別担当教師の取り組みも視野に入れてはどうか。	
①学習状況調査などの結果を分析し、指導方法の工夫・改善に努めるとともに、前年度正答率を上回るよう指導の充実を図ります。	・全国・県学習状況調査の正答率の向上 ・放課後等補充学習支援事業				
(2)家庭学習習慣の定着					
①学年に応じた家庭学習目標時間を設け、家庭学習の習慣を身につけさせます。	・家庭学習目標時間の設定と手引きを活用した家庭学習の充実	A	A	●施策評価がAでよく取り組まれている。今後も各学校で意識を揃えることと保護者との連携が必要と考える。 ●家庭学習時間確保に親のかかわりが問題。 ●家庭での保護者との連携が重要。	A
②タブレットを活用した家庭学習の定着	・ドリル等を使った家庭学習の推進				
(3)外国語教育の推進		A	A	●今回、生徒や教員の英語力に関する数値目標に変更された。概ね目標達成ができていたので、さらに今後を期待したい。 ●全体として達成度も高く今後も見守りたい。 ●外国語をマスターすることは時間がかかる。小中の時期は、聞く、話すことに力を入れてほしいと思う。ALTを充分活用してほしい。	
小中一貫した共通シラバスのもと、全学的な英語の授業改善を図ります。ALTを活用した授業を充実するとともに、市内在住の英語ネイティブ・スピーカー等と連携し、児童生徒が生きた英語に触れる機会を拡充します。	・市内共通シラバスによる授業実践 ・ALTを活用した授業の充実 ・イングリッシュ・キャラバン ・英会話オンライン授業				

【重点事項 2】ICT活用教育・官民一体型学校づくりの推進

【重点事項 2】ICT活用教育・官民一体型学校づくりの推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1)ICT機器を活用した教育の充実		A	A	●目標数値が達成され、A評価となっている、よく取り組まれていると思う。 ●保護者に対して根拠強い説明、大切だと思う。 ●活用することにより先生方の仕事量が軽減されていればいいと思う。	
・電子黒板や学習用端末等を活用した授業により学習意欲の向上と学力向上を目指します。	・電子黒板や学習用端末の活用促進 ・デジタル教科書の利活用 ・ICT教育推進員の配置(16名) ・個別最適な学習環境の提供				
(2)全小学校での花まる学習の推進		A	A	●目標数値と実績数値の関係がわかりにくい。施策評価がAとなっていてよく取り組まれている。取り組みに関しては、今回、評価委員会が設けられ、詳細に分析し、公表されている点は大変素晴らしい。 ●花まる学習に担任教師のかかわりはどうか。 ●花まる学習を学校がどう考えているか	A
・公立学校に「民」のノウハウや活力を融合させた新しい学校づくりで、21世紀を生き抜く力を育む教育を推進していきます。	・官民一体型学校の推進 ・花まる学習会からの講師派遣 ・地域支援員の充実				

【重点事項3】豊かな心の育成		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1)道徳教育の充実					
・全学校において道徳の時間の充実に努め、保護者へ授業を公開します。	・ふれあい道徳の実施(道徳の授業公開)	A	A	●達成度100%で施策評価Aとなっていてよく取り組まれている。	
(2)不登校やいじめ、問題行動への対応と相談体制の充実					
①学校・家庭・地域等が連携して、「いじめ」「不登校」「問題行動」への早期対応や教育相談の充実に取り組み、未然防止に努めます。 ②不登校児童生徒に対し、関係機関が連携した支援を進めます。 ③武雄市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ重大事案への迅速な対応と、児童生徒への細やかな支援体制の充実を図ります。	・訪問相談員配置事業 ・スクールカウンセラー配置事業 ・スクールソーシャルワーカー配置事業 ・学校適応支援教室「スクラム」事業 ・武雄市いじめ問題対策委員会の実施 問題行動評価基準 (過去5年間の推移と平均値から) A: 発生率1. 1%未満(前年度未満) B: 1. 1~2. 3%(5年間平均以	D A A	C	●不登校、問題行動対応、いじめ対応等それぞれよく取り組まれているが、不登校については増加していることから専門家等も交えて対策を検討する必要があると思う。問題行動は、中学校がかなり減少した点はよかった。 ●不登校の生徒の親への指導はどうされているか。 ●親のかかわりがうすいように感じられる	A
(3)人権・同和教育の充実					
・人権・同和教育への理解を深めるため、積極的に校内外での研修に参加し、指導の充実に努めます。	・県、市が開催する研修会への積極的な参加 ・校内研修会(LGBT'Qを含む)の実施	A A	A	●例年通り全小中学校でよく取り組まれている。	
(4)特別支援教育の推進					
・学校生活支援員を配置し、支援を必要とする児童生徒に対して、きめ細かな指導や支援を行います。	・学校生活支援員配置事業の実施	A	A	●例年通りよく取り組まれている。	
(5)読書活動の推進					
①読書ボランティアの活用を通して、読書の楽しさを伝えます。また、全学校で読書活動を推進する取り組みを実施します。	・読書活動の推進 ・読み聞かせボランティアの活用				
②読書の楽しさと必要性を伝えながら読書意欲の向上を図ります。また、武雄市図書館との連携と活用を推進します。	・小中学校と武雄市図書館との連携	A B	B	●小中学校と武雄市図書館との連携については、学校側の状況も確認する必要があると思う。 ●各学校で読み聞かせを実施し、参加したことがあるが、生徒たちにとってとても素晴らしと感じています。しかしながら読み聞かせの人員確保にどこも苦労されているようです。何か施策があれば読み聞かせ団体との共有をお願いしたいと考える。 ●いろいろな情報にふり回されず、文字から読み取り、感じ取る静かな空	

【重点事項 4】たくましい身体の育成		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 基本的生活習慣の定着		A	A	● 昨年と比べて達成度で多少の違いはあるが良く取り組まれている。 ● 生活習慣は親のかかわりが大切。親のかかわりはどうか。	A
・保護者との連携・協力により、「早寝・早起き・朝ごはん運動」を推進し、基本的生活習慣を身に付け、食の質を向上させる取組みを進めます。	・早寝、早起き、朝ごはんの推進				
(2) 健康教育の推進		A	A	● 全校でよく取り組まれている。	
・性教育、防煙教育、がん教育、薬物乱用防止などの健康教育を保護者、地域と一体となって取り組みます。	・性に関する授業の実施 ・防煙教室の開催(小6、中1) ・各中学校でがんの教育講演会開催 ・薬物乱用防止教室授業の実施				
(3) 食育の推進		A	A	● 全校でよく取り組まれている。 ● 物価上昇の中での食材調達など苦労も多いのではないかな。 ● 良く努力して取り組まれていると思う。	
① 学校給食の指導を充実させ、「食」の自己管理能力や望ましい食習慣の定着を目指し、食育の充実に積極的に取り組みます。	・「弁当の日」事業の推進 ・食に関する授業の実施 ・全小中学校での食育への積極的な取組み				
② 「たけおの食の日」などを通じて、ふるさとの食材の素晴らしさを児童生徒に伝えます。 学校給食での県産物の利用促進を図ります。	・学校給食での県産食材の利用	A			
③ 自校方式学校給食の充実					
(4) 体力・生涯体育の基礎づくり		B	B	● 引き続き工夫しながら進めてほしい。	
・体力テストの結果等を踏まえ、体力向上に努めます。	・体力テストの結果の分析と活用 ・スポーツチャレンジの充実				
【重点事項 5】幼児教育の充実と 幼・保・小・中・高相互連携の推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 教育・保育の充実		A	A	● 例年通りよく取り組まれている。	A
・乳幼児期の重要性や特性を踏まえ、発達に応じた質の高い教育・保育を提供します。	・保育所、幼稚園、認定こども園等へ教育・保育に係る経費の給付 ・障害児保育事業				
(2) 幼・保・小・中・高相互連携の推進		A C	B	● 昨年から改善しているところもある。引き続き現場の状況も踏まえて取り組みを進めてはどうか。	
・中学校による出前授業、小・中連絡会などを行い、小中の連携・強化に取り組みます。 また、高校生との連携を推進します	・小中連携教育活動の実施 ・高校生ふれあい事業				
・幼・保・小連携に関する具体策を年間計画に盛り込み、計画的に推進します。	・幼・保・小の連絡会、協議会の開催 ・幼・保・小相互での授業参観交流	A B			
・園児と中学生・高校生の交流を行い、連携の強化に取り組みます。	・育ちあい講座	A		● 育ちあい講座は100%の実施。これからも続けてほしい。 ● 私たちの子ども時代には思いもつかなかった、とてもすてきな取組みだと思う。	

【重点事項 6】教職員の資質や指導力の向上		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 勤務規律の保持・徹底とメンタルヘルス対策の強化		A	A	●施策評価ではA評価であり、よく取り組まれている。 ●先生になりたい若者が増える職場環境になること願う。	
①教職員としての職務上、身分上の義務の遂行に努めます。	・交通事故・体罰等の信用失墜行為の防止				
②教職員のメンタルヘルスの対策強化を図ります。	・ストレスチェックの実施と教職員のメンタルヘルス状況の把握	A			
(2) 教職員の意識改革の推進と研修の実施		A	A	●全校でよく取り組まれている。 ●意識改革は校長がかかることと思う。校長しだい。	A
①人事評価制度を活用し、教職員一人ひとりの個性や特性を伸ばし、信頼される教職員の育成を目指します。	・校長による指導とヒアリングの実施による意識改革				
②教職員の自主的研修の推進及び支援を行い教師の指導力向上に努めます。	・初任者研修等時期に応じた研修 ・武雄市教育研究会の推進	A			
③事務の共同実施を推進し、学校の活性化に努めます。	・学校運営支援室による帳簿指導・備品管理システムの実施	A			
【重点事項 7】多様化する社会の進展に対応した教育の推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1)ユニバーサルデザイン教育の推進		A	A	●全校でよく取り組まれている。	
・学校教育の中で、ユニバーサルデザインをテーマとして、他者を思いやる心など豊かな人間性を育む取り組みを、関係機関と連携して行い、その理解と普及、実践化に努めます。	・UDやバリアフリー、多様な性に関わる授業・学校行事の実施				
(2)環境に配慮した教育の推進		A	A	●全校でよく取り組まれている。	A
・節電、節水、リサイクルの周知や、学校内外の清掃作業等の取り組みを、関係機関と連携して行い、地球環境に配慮した指導・実践に努めます。	・環境教育の実施				
(3)発達障がい児・者への支援		A	A	●全校でよく取り組まれている。 ●障がいをもつ親への徹底した支援が必要ではないか。	
・福祉と連携し、発達障がい児・者に対する支援を行います。	・こども家庭課との連携強化				

基本目標 Ⅱ 市民一人ひとりの生きがいを高める生涯学習の推進

【重点事項 1】明日を担う青少年教育の推進

【重点事項 1】明日を担う青少年教育の推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 青少年育成事業の推進					
① 青少年育成市民会議(町民会議)活動の推進 ・武雄市青少年育成市民会議(町民会議)の活動を通して、学校・地域・家庭の連携強化を図り、地域で子どもを育む「たけおっ子“絆”プロジェクト！」を推進	・ながら防犯、青色防犯パトロール、長期休業中の巡視活動の実施 ・市 西 宮 寺 日 期 取 消 休 暇 本 連 勤 の 対 策、地 域 探 検 活 動、巡 視 活 動 の 実 施 ・「月に一度はファミリーデー」の啓発 ・親子で読める広報誌「雄翔」の発行	A	A	●実績数値に多少の違いはあっても、昨年度と変わらない達成度で施策評価もAになっていて、継続的によく取り組まれていると思う。	A
② 子どもクラブ活動の充実と指導者の育成 ・市子連、町子連の活動により、遊び活動や団体活動を通じた学びの場を創ります。	・市子連による交流事業の実施及び単位子どもクラブ活動の充実 ・市子連における研修会の実施 ・町子連における安全講習会の実施	A		●子どもクラブを活発にさせる指導者の育成が問題か。 ●子どもクラブ入会者に限らない行事への参加方法も考慮してほしい。	
③ 新・放課後子ども総合プランの推進 ・地域社会の中で、子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進します。	・放課後児童クラブの実施 1) 一体型放課後児童クラブ・子ども教室の実施 2) 連携型放課後児童クラブ・子ども教室の実施	A			
④ 子ども、親子向けの防災教育 ・放課後児童クラブ、子育て支援センター事業、青少年教育団体等において防災講座を実施し、防災意識の向上を図ります。	・放課後児童クラブでの防災講座 ・保護者や子育て支援者へ防災講座の実施 ・青少年講座や子どもクラブ活動での防災講座の実施	A A B			
(2) 体験学習の機会提供と支援					
① 地域のリーダー育成 ・野外活動や体験活動の中で、集団での役割や協働意識を学び自発性のある心豊かな青少年育成に取り組む、地域のリーダーとしてのスキルを修得します。	・わんぱくスクールの開校 ・ジュニアリーダー育成研修会の実施 ・武雄市・雄武町児童交流団派遣事業の実施	A	A	●実績評価に多少の違いはあっても、昨年度と変わらない達成度で施策評価もAになっていて、継続的によく取り組まれていると思う。 ●かなり前だが実際自分の子が「わんぱくスクール」に参加してその経験は大人になった今もとても生きている。今の子ども達にも必要で大切な事だと思う。	A
② ジュニアリーダーの活動機会の充実 ・ジュニアリーダーの活動の場を増やし、リーダーとしての意識を高めます。	・わんぱくスクールにおける児童の指導力の向上 ・市事業への参加や地域子どもクラブ活動への派遣	A		●ジュニアリーダーの活躍はすばらしい。	
③ 青少年講座の充実 ・子どもたちの体験学習や地域活動を推進し、創造力の醸成、郷土を愛する心を育みます。	・発明クラブの実施 ・公民館における子ども対象講座の実施	A			
④ 子どもの読書活動の推進 ・公民館において、武雄市図書館・こども図書館の巡回図書を活用や子育て支援センター、地域の読書ボランティアの方との連携により、子どもたちが本に親しみ、読書を楽しむ習慣を身に付けるための環境づくりを推進します。	・武雄市図書館の巡回図書の活用 ・読み聞かせの実施	A		●図書館だけでなく、いつでも本のある環境、学級でもすぐ本が読める環境が必要ではないか。	
(3) 青年期における学習・活動の機会拡充と支援					
① 学習機会の提供 ・多くの仲間との絆づくりができる学習機会の場を提供します。 ・ふるさと武雄の良さの再確認と多くの仲間との絆づくりができる学習機会の場を提供します。	・青年層を対象とした学習講座の実施やサークル団体の育成 ・二十歳のつどいの実施	A	A	●達成度で昨年との違いはあるが、事業評価、施策評価はともにAでよく取り組まれている。	
② 修学支援 ・経済的理由により大学等への修学が困難な者への支援を行います。	・奨学資金の貸与	A			

【重点事項 2】成人教育の推進と人づくり・地域づくり

		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 学習機会の提供					
①生涯学習まちづくり出前講座の実施 ・市民のニーズや市の重点施策等によりメニューを見直し、身近で分りやすい充実した講座を提供します。	・メニューの充実	A		●利用者数の増減等あるようだが、施策評価はAでよく取り組まれている。今後の工夫に期待したい。	
②公民館活動の充実 ・地域住民のニーズを反映した講座の開催や各町のまちづくり団体等の支援を行います。	・成人対象講座の充実 ・自治公民館、各種団体の支援	B			
③学習団体への支援 ・中央公民館サークルや各町のスポーツ、文化サークルへの活動場所の提供、活動発表の場を創出します。	・活動場所の提供及び発表の場の創出	A	A	●コロナが少しだけ落ち着いたと思ったらまた再流行し、中々開催のタイミングが難しい面もあるとおもうが、続けてほしいと思う。	
④高齢者の学びの場の確保 ・高齢者の学習機会の提供や支援を行います。	・武雄市民大学への支援 ・黒髪大学、延寿学級の実施	A		●市民大学は今年度から北方文化ホール、北方公民館での開催になった。会員は年間6,000円の会費を払っているとのこと、使用する部屋代が減免してもらってはいるが、結構負担になっていると聞く。配慮を希望する。	
(2) 地域連帯感の醸成					
①多世代交流の推進 ・地域行事への幅広い年代層の参加を勧め、心豊かな地域づくりを推進します。	・地域コミュニティ活性化事業の実施(地域活動の日、通学合宿等) ・地域の特色を生かしたイベントの実施	A		●多文化共生事業については、他課との関係等事情はわかった。それ以外の取り組みに関してはよく取り組まれている。	
②多文化交流の促進 ・地域住民と外国人住民との相互理解を深め、多文化共生のまちづくりにつなげます。	・多文化共生事業の実施	D	B		
③防災教育による地域防災力の強化 ・まちづくり出前講座等を活用し、公民館事業、社会教育関係団体での防災意識の向上を図ります。	・出前講座における防災意識の向上 ・「防災」の視点を取り入れた事業、イベント等の実施	B		●防災キャンプは今とても必要で子供たちには体験してほしい事である。	
(3) 人権尊重社会の形成					
①市民や企業・団体などを対象とした啓発活動の推進 ・人権問題学習会や出前講座等を開催し、市民一人ひとりが人権・同和問題についての正しい理解・認識を深め、差別のない明るく住みよい武雄市を築きま	・人権問題学習会の開催 ・出前講座における人権啓発	B		●実績数値は昨年から増えているものもあり、よく取り組まれている。施策評価をみても改善されていることがわかる。	
②人権フェスタの開催 ・「考えよう 相手の気持ち」「育てよう 思いやりの心」を実践するために「人権フェスタinたけお」を開催します。	・人権フェスタの開催(男女共同参画イベントと共催)	A	A		
③人権・同和教育における学校教育との連携 ・市内小・中学生から人権標語を募集し、学童期からの人権意識の醸成に努めます。	・人権標語の募集、表彰及び広報	A			A
(4) 図書館・歴史資料館サービスの充実					
①図書館・歴史資料館のサービスの向上 ・市民価値の高い図書館サービスの充実を図り、来館者、図書貸出等の増を目指します。 また、各種講演会をはじめ司書講座、古典講座、古文書講座等を実施し、その充実を図ります。	・各種講演、講座、イベント等の充実 ・県内公共図書館相互貸借システムの推進 ・レファレンス業務の充実	A		●総合満足度は昨年から3ポイント向上し、「おはなし会」の開催もかなり増えている。いずれの取り組みもよく努力されていることがわかる。●以前他県の大学に行っていた子供が、その大学の教授の方が「武雄の歴史はとてすごい」と言われていて、改めて私も思った。定期的に講演イベント期待したい。●企画展のギャラリートークを毎回楽しみにしている。市民ファンがもっと増えることを望む。	
・「こども図書館」では、絵本や遊びを通じた学びと交流の場づくりに努めます。	・子ども向け講座、読み聞かせ等の充実 ・親子の「学びの場づくり」	A			
② 郷土資料の活用と情報発信 ・武雄の歴史や文化をテーマとして企画し、郷土への愛着を一層深めもらうために企画展を開催します。	・企画展の開催 ・ギャラリートーク、講座等の実施	A		●武雄高校は塚崎城のあったところ。現役高校生3年間在学中に一度、歴史資料館からの出前講座を実践してはどうか。	
・館内での動画の上映やこども歴史コーナー等での展示、ホームページ等での紹介など歴史資料の情報発信に努めます。	・館内での歴史紹介動画の放映 ・こども歴史コーナーの活用 ・ホームページ、SNS、パンフレット等を活用した情報発信	A	A		

基本目標 Ⅲ 明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造

【重点事項 1】文化活動の振興と担い手の育成

		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1)文化活動の育成・推進		B	A	●施策評価も昨年度どおりAで、それぞれよく取り組まれている。	
①武雄市文化連盟に属する各種文化団体の活動を支援し、文化会館・山内改善センター・北方公民館を中心に、文化祭や美術展覧会を開催します。	・たけお芸術祭の開催 ・公募美術展覧会の開催				
②こどもあーとDEスマイルオフィスを実施し、子どもの夢や個性・能力を知ってもらい、地域の方々に子どもたちと市民の交流を通じて、地域の活性化を図ります。	・こどもあーとギャラリー	A			
(2)芸術文化事業の充実		A	A	●今回は事業評価が全てAで施策評価も昨年度どおりAになっている。関係者の取り組みもさることながら市民の関心の高さがうかがえる。	A
①公募により図書館・歴史資料館の企画展示室を個人・団体に貸し出し、文化活動を広げる場を提供します。	・公募展の募集				
②市民が参加・企画する、たけお音楽祭などを継続して支援します。	・たけお音楽祭	A		●S50文化会館が開館したことで企画された音楽祭42回も続いていること誇りに思う。	
③名画上映・クラシックのコンサート実施など優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供します。	・映画鑑賞会 ・優れた芸術文化の鑑賞	A			
④文化のまちづくり構想の「文化の薫る学校づくり」として、子どもたちが本物の文化・芸術に触れられる機会を提供します。	・アウトリーチ事業	A		●新幹線開通のつながりで2010年(平成22年)からの長崎OMURA室内合奏団とのアウトリーチコンサート。このご縁は大事にしたい。	
⑤市民が文化に気軽に触れるきっかけとして、様々なテーマによるワークショップを実施します。	・体験型ワークショップ実施	A			
(3)文化によるまちのにぎわいづくり		A	A	●昨年に続いてよく取り組まれている。 ●文化協会は色々なイベント情報収集して頑張って活動されている。子供が小さい時にクラシックに触れさせる機会も何回もあり貴重な体験は一生心に残ると思う。大村室内合奏団との関係は今後も続けて欲しい。	
文化のまちづくり構想の「文化がもっと身近になるきっかけづくり」として、引き続きまちじゅうアート事業を推進していきます。また「気軽に文化活動の場づくり」として文化施設のみならず市内各所を利用したイベント等を実施し、文化による交流人口増、まちのにぎわい創出、市内外への波及を図ります。	・まちじゅうアートプロジェクト ・市内各所でのイベントの実施				

【重点事項2】 文化財の保護・伝承と活用

【重点事項 2】 文化財の保護・伝承と活用		自己評価		評価委員の評価				
具 体 的 施 策		主要事業名		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価	
(1) 国・県・市指定史跡等の環境維持と活用								
①国・県・市が指定する史跡・天然記念物の環境の維持・保全に努めるとともに、所有者への助言、指導を行います。		・文化財の保全体制 ・史跡等のパトロール ・所有者への助言、指導		A	A	●昨年度と変わらない達成度で施策評価もAになっていて、継続的によく取り組まれていると思う。	A	
				A				
②文化財防火デー火災防御訓練を消防機関等と連携して開催し、文化財の災害予防と文化財愛護の意識の高揚を図ります。		・文化財防火デー火災防御訓練		A				
(2) 文化財資料の調査と保護								
・本市に所在する重要な文化財を後世に伝えるため、資料の調査を行います。また、文化財保護審議会を定期的に開催し、本市の取り組み状況について説明、助言をもとめます。		・文化財保護審議会の開催		A	A	●昨年度と変わらない達成度で、継続的によく取り組まれていると思う。		
(3) 開発と埋蔵文化財保護との調整								
・土地の開発に関し、埋蔵文化財保護との調整・指導を行い、埋蔵文化財の保護に努めます。		・市内遺跡発掘調査事業		A	A	●例年通りよく取り組まれている。		
(4) 無形民俗文化財の支援と発表会の場の充実								
・国・県・市の補助金や各種財団の助成金制度について情報を提供し、保存会活動を支援します。		・武雄市伝統芸能保存連絡協議会の開催・支援		A	A	●例年通りよく取り組まれている。		
・武雄市伝統芸能保存連絡協議会を中心に、後継者育成を目的とした発表の場の提供を図ります。		・武雄市伝統芸能まつりの開催・支援		A		●伝統芸能のあとつぎは十分できているのか。		
(5) 史跡おつば山神籠石の整備								
・史跡おつば山神籠石保存整備計画に沿って整備と周知を行います。		・史跡おつば山神籠石保存整備事業 ・整備検討委員会の開催		A	A	●例年通りよく取り組まれている。		
(6) 出土遺物再整理事業の成果と活用								
・事業成果を基に、武雄における古陶磁の調査研究・活用を推進します。		・市内出土遺物再整理事業のとりまとめ ・やきものワークショップの開催		A	A	●前回の再整理事業の推進から、今回はとりまとめと成果の活用等に変わっている。取り組みはよくできていると思う。		
(7) 国重要文化財 武雄鍋島家洋学関係資料保存活用計画の推進								
・武雄鍋島家洋学関係資料の適切な保存に努めます。		・武雄鍋島家洋学関係資料管理台帳(デジタル)作成のための、資料の総点検及び既存データ整理事業		A	A	●前回の内容から、実績数値の再整理等行われた。取り組みはよくできていて、企画展の見学者も多い。		
・市民、観光客等に、武雄鍋島家洋学関係資料に親しんでもらうため、企画展を開催します。		・武雄鍋島家洋学関係資料をテーマとする企画展の開催		A				

基本目標Ⅳ 豊かな学びを支える教育環境と子育て環境の整備

【重点事項1】安全・安心な教育環境の整備

【重点事項 1】安全・安心な教育環境の整備		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1)安全・安心な環境づくり		A	A	●例年通りよく取り組まれている。 ●地域で子どもの数が少ないので、地域の人が子達に声かけ運動をしていけば、なんとかなるのではないかと。 ●今、PTAに入らない家庭もあると聞く。前は入って当たり前という認識だった。入る事のメリット、楽しさなど伝えて行けばよいと考える。	A
①PTA・育友会等と連携・協力して、不審者、声かけ事案等から子どもたちを守ります。	・各学校で地域や保護者と連携した定期的な見守り活動の実施 ・安全マップ、緊急時対応マニュアルの確認と見直し ・「こども110番のいえ」の周知				
②通学路の安全確保のため、学校・家庭・地域社会の協力体制のもと、日常点検等を行い、交通事故等の未然防止に努めます。	・年1回以上の通学路の安全点検 ・防災の視点からの点検(大雨、地震、ブロック塀等)	A	A		
(2) 安全教育の徹底		A	A	●実績数値は多少少なくなっているが、全校でよく取り組まれており、事業評価、施策評価もAとなっている。 ●「自分の身は自分で守る」の意識の定着で親への指導を十分おこなうことが求められる。	
①「自分の身は自分で守る」意識の定着を目指し、防犯ブザーの所持徹底を図ります。	・防犯ブザーの携帯 ・防犯教室の開催				
②「全ヘル運動」を実施し、自転車に乗るときのヘルメット着用を推進します。	・「たけおっ子全ヘル運動」の推進 ・交通安全教室の開催				
③安全に関わる防災教育や訓練を行い児童生徒の危機回避能力を高めます。	・避難訓練等の計画的実施 ・市防災講座の活用				
④インターネットやスマートフォン等の利用に関するモラルの育成に積極的に取り組みます。また、関係機関、保護者と連携し、児童生徒に適正な利用の指導を行います。	・情報モラルに関する学習の実施	A	A		

【重点事項2】教育施設・設備の充実

【重点事項2】 教育施設・設備の充実		自己評価		評価委員の評価			
具 体 的 施 策		主要事業名		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1)安全・安心な学校づくり							
①学校施設・設備の定期点検、日常点検で危険箇所や劣化の状況を調査し、安全・安心な学校施設・設備の維持管理に努めます。		・消防設備、電気設備、浄化槽の点検 及び維持補修 ・営繕工事の実施		A	A	●例年通りよく取り組まれている。	
②児童生徒が安心して学べる学校生活空間づくり、安心して遊べるための環境整備に努めます。 また、誰もが利用しやすいよう、バリアフリーなどにも配慮した施設づくりに努めます。		・各種施設の保守点検 ・バリアフリー等、施設の点検		A			
				A			
(2)安心して学べる快適な社会教育施設づくり							
①社会教育施設の維持管理					A	●例年通りよく取り組まれている。 ②の実績数値、達成度はどのように算定されているだろうか。	A
社会教育・文化施設の日常点検、定期検査を適切に行い、安心して利用できる環境整備施設に努めます。		・定期検査の実施 ・営繕工事の実施		A			
②公民館は、地域の学習拠点として、誰もが利用しやすいようバリアフリーにも配慮した施設づくりに努めます。また、災害時には、避難所として利用できるよう機能強化に努めます。		・武雄公民館建設事業 ・若木公民館建設事業		A			
(3)アセットマネジメントの推進							
・学校施設、放課後児童クラブ施設や社会教育施設について、アセットマネジメントによる個別施設整備計画を推進します。		・アセットマネジメント個別計画の推進		A	A		
(4)ICT機器等の教育環境の整備・充実							
・電子黒板や学習用端末等の整備・更新を適宜実施します。		・電子黒板や学習用端末等の更新		A	A	●例年通りよく取り組まれている。	
(5)新文化交流施設エリアの整備							
・現文化会館の施設、設備の課題解消、機能向上を図り、新たな文化交流の拠点づくりを進めていきます。		・各設計業務の実施 ・管理運営計画の着手		A	A	●例年通りよく取り組まれている。 ●今年度に向けてのことではあるが、大ホール前駐車場から公民館入口までの整備をお願いしたい	

【重点事項3】子育て支援の推進

【重点事項3】子育て支援の推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 子ども・子育て支援事業の充実		A	A	●子育て支援について、充実した取り組みが行われている。	A
・すべての家庭が安心して子育てができるよう、様々な社会環境の変化に対応した子育て支援を充実します。	・利用者支援事業(基本型) ・延長保育事業 ・一時預かり事業 ・ファミリーサポートセンター事業 ・病児・病後児保育事業((4)に再掲)				
(2) 乳幼児期からの地域との絆づくり		A		●例年通りよく取り組まれており、達成度、事業評価、施策評価とも好評価になっている。	
①保護者の学習機会の充実	・赤ちゃんひろば ・親子講座 ・マタニティヨガ&胎教パステルアート ・子育て講演会 ・パパとあそぼう				
・家庭での教育力向上のため保護者のニーズにあった支援をします。 ・父親の育児を支援します。					
②子育て支援者の質の向上	・子育てサポーター養成講座 ・子育てサポーター定例研修 ・ファミリーサポート協力会員研修 ・だっこボランティア研修 ・保育者のためのスキルアップセミナー ・放課後児童クラブ支援員・補助員研修	A			
・子どもの健やかな発達を支援するため支援者の質の向上や、保護者支援について研修します。					
③地域の子育て支援の充実	・子育て支援者交流会の開催 ・公民館等での子育てひろば開催(地域ひろば) ・赤ちゃん登校日開催(武小,山中,北方中) ・おひさまフェスタ開催 ・センター通信「くすくす」発行 ・おひさまブログ発信	A	A		
・子育て支援者交流会の実施、地域の子育て親子の交流・支援、情報提供をします。 ・公民館におけるひろばを通じ、親子が地域に触れる機会を増やし、郷土を愛する心の育成を図ります。					
④ブックスタート(おひさでよんで!)事業の推進		A			
・乳児(5ヶ月児)を対象に、絵本を通して親子の心の交流を深め、心安らぐ時間を共有してもらうよう支援します。	・毎月、こども図書館で読み聞かせ、絵本のプレゼントを実施				
・ボランティア、市関係部局と連携し、子育て支援を充実します。	・保健師、保育士等の出張相談窓口を設置				
(3) 保育環境の充実		A	A	●例年通りよく取り組まれており、待機児童0など成果が出ている。	
・市内における保育・教育施設の質の向上と多様化する保育ニーズに対応します。	・保育士確保事業(就職支援補助、家賃補助、保育料補助)				
(4) 病児・病後児保育の充実		B	A	●昨年と比較して達成度も向上するなど、よく取り組まれている。	
・病児・病後児保育施設の利用促進を図り、就労等でお困りの保護者の負担を減らします。	・病児・病後児施設の周知、利便性の向上				
(5) 放課後児童対策の推進		A	A	●概ね昨年同様の達成度で、よく取り組まれている。	
①放課後児童対策の推進	・放課後児童クラブの実施 ・放課後子ども教室の実施				
②全ての就学児童が放課後等を安全安心に過ごし、多様な体験・活動を行えるよう進めます。	1) 一体型放課後児童クラブ・子ども教室の実施 2) 連携型放課後児童クラブ・子ども教室の実施				
(6) 子育て世代包括支援センター事業との連携		A	A	●例年通りよく取り組まれている。	
・子育て世代包括支援センターを、こども家庭課と子育て総合支援センターに設置し、妊娠期から関係機関との連携を図りながら切れ目のない支援を実施します。	・利用者支援事業(母子保健型)				

【重点事項 4】子どもの貧困対策

		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1)第二期子どもの未来応援計画の推進					
・次世代を担う子どもたちが、環境に左右されることなく、自分の人生を自ら切り開き、社会で自立できるよう、実態把握と必要に応じた対策を実施します。	・第二期子どもの未来応援計画の推進	—	—	●昨年も達成度、事業評価、施策評価としては挙げられていなかったが、実績数値を見ると必要な支援や対応がしっかりと行われていることがわかる。	A
(2)伴走型支援の充実					
・子どもの成長段階に合わせ、妊娠・出産期から小学校期など、早い段階から長期的・継続的な支援を行うことにより、子どもの貧困の解決と予防を推進します。	・こどもの笑顔コーディネーターによる伴走型支援	A	A	●昨年同様よく取り組まれている。必要な支援が行われていることがよくわかる。	

【重点事項 5】働き方改革の推進

		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1)キッズウィークの推進					
・「働き方改革」による「キッズウィーク」の推進に向け、市長部局と連携して取り組みます。	・キッズウィークの推進	A	A	●例年通りよく取り組まれている。 ●キッズウィークの活用で親子で楽しめる家族がある一方、サービス業などにかかる保護者など仕事を休めない家庭があることも認識いただきたい。 ●キッズウィークの市の職員の休暇は促進できたか。	A
(2)学校現場の業務改善計画の推進					
・教職員の時間外勤務の削減を実現するため、「学校における業務改善計画」を推進します。	・学校における業務改善計画の推進 (教職員の勤務時間の把握・分析) ・部活動基本方針の徹底	A	A	●例年通りよく取り組まれており、実績数値も改善の方向にある。 ●学校により対応が違うことは問題であり、うまくいっている学校があれば情報共有をしていただきたい ●中学校は、担任、副担任、教科ごとの先生などいる。フレックス制等の導入も検討してみたいか。	

基本目標 V 郷土愛の醸成と協働する市民総参加による教育の推進

【重点事項 1】地域のよさや伝統を生かしたふるさと教育の推進

【重点事項 1】 地域 のよさや伝統を生かしたふるさと教育の推進		自己評価		評価委員の評価			
具 体 的 施 策		主要事業名		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 地域を生かした教育活動の推進				A	A	●達成度では、昨年から低くなった項目もあるが、それぞれ大変よく取り組まれている。	A
①たけお教育の日 ※学校・家庭・地域の連携・協力のもと、地域の宝である「たけおっ子」とともに市民一人ひとりが学び合い、支え合い、高め合い、温かくたくましい教育のあり方を考える日 ・子どもたちが、生まれ育った武雄市の歴史や文化を学び郷土を愛する心を醸成するとともに、子どもたちがともに、学んだこと、感じたことなどの発表の場を創り、将来への希望や目標を持ち、達成しようとする心を育むことができるよう取り組みます。		・たけお教育の日イベントの開催 (内容)たけおっ子の主張、活動発表のほか、教育委員会各課、庁内関係部署における子ども関連事業。				●一般市民の方にどの位伝わっているのか。	
・地域の「人」「もの」を教育活動で積極的に活用します。		・地域教材等の授業での活用 ・特別非常勤講師制度の活用				●郷土を愛する心は学校だけでなく、家庭、地域での会話の中で育つことも多いのではないだろうか。	
(2) 地域に根ざした学校運営の推進				A	A		A
・地域行事への児童生徒の参加を積極的に推進し、郷土を愛する心の育成を図ります。		・地域行事への参加推奨				●全小中学校でよく取り組まれており、評価できる。 ●保護者の理解を充分に得ることも必要である。	
(3) 歴史的資源を活かした郷土愛の醸成							
①史跡、伝統文化等の学習活動 史跡や伝統文化等が市民にとって身近な学習教材となるよう、出前講座等で機会を提供します。		・出前講座、出前授業の開催		A	A	●実績数値は昨年と比べて増えており、よく取り組まれている。	A
②歴史資料を活かした教育活動 学校教育や社会教育の中で、武雄の歴史資料に対する理解を深めるための啓発を行い、郷土への愛着心を深めます。		・副読本「わたしたちの武雄市」「すごいぞ武雄」の学校教育での活用 ・出前講座の積極的な呼びかけや歴史ワークショップの開催		A		●郷土の歴史に興味を持つのは大人になってからも知れないが、歴史的に「武雄はすごいぞ」ということは子ども時代から教え込んでいいのではないかと。	
③新たな武雄市史の編さん ・武雄市の自然、歴史、産業、文化などを改めて見直すことで、市政の発展、文化の向上につなげます。 ・市民への情報発信、市民参画の中で編さんすることで、市民の強度に対する愛着、誇りを醸成します。		・市史編さん委員会の設置 ・市史編さん基本計画の策定		A	A		

【重点事項 2】学校・家庭・地域・諸機関・事業所などとの連携の推進

【重点事項 2】学校・家庭・地域・諸機関・事業所などとの連携の推進		自己評価		評価委員の評価			
具 体 的 施 策		主要事業名		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1)学校教育活動の公開							
①「学校運営協議会」「学校関係者評価」を活用し、学校教育活動を積極的に公開します。 ②学校リーフレットや学校ホームページ等で児童生徒の様子を保護者や地域に積極的に公開します。	・学校運営協議会等の開催 ・学校のホームページの活用、更新	A	A	●例年通り全小中学校でよく取り組まれている。			
		A					
(2)地域学校協働本部との連携							
・地域、関係機関との連携を深め、地域協働本部を中心に、学校を核とした地域との協働活動に取り組みます。	・地域学校協働本部事業	A	A	●例年通り全小中学校でよく取り組まれている。			
(3)コミュニティ・スクールの推進							
・学校・地域・保護者が一体となった学校運営協議会の運営を、より強固な体制に構築します。	・コミュニティ・スクール推進事業	A	A	●例年通り全小中学校でよく取り組まれている。 ●学校運営協議会の在り方は県内でもまちまちで各協議会の交流の場があると もっと活発なコミュニティスクールの実現につながるのではないかと。			
(4)キャリア教育の推進							
①市内外の企業・事業所等や市民の協力を得ながら、職場体験学習、起業家教育を充実させます。 ②武雄の先輩の力を教育活動に活かします。	・職場体験の実施(地元事業所を中心に職場体験)	A	A	●例年通り全小中学校でよく取り組まれている。 ●職場体験の事業所を生徒が決めていくことも大切かと思う。 ●卒業生、先生方の同級生、保護者の人間関係などフル活用してはどうか。			

【重点事項 3】教育委員会の積極的な情報公開

【重点事項 3】教育委員会の積極的な情報公開		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策		主要事業名		事業評価	
		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1)教育委員会の会議の公開		B	B	●達成度は昨年から改善している。	
・教育委員会会議の開催日程などを広報し、会議への傍聴を積極的に働きかけ、会議録の公表に努めます。	・会議開催のお知らせ ・会議録の公表				
(2)公民館活動の積極的な公開		A	A	●例年良く取り組まれている。 ●発行により充実した情報発信ができて いるがどの位の町民がみているのか。	A
①公民館事業等の情報発信 ・中央公民館、各町公民館から、より地域に密着した行事、話題や出来事などを、公民館だよりやホームページなどで積極的に公開します。	・公民館だよりの発行 ・公民館のブログの更新 ・市報、市ホームページ等の活用				
(3)教育委員会の点検評価		A	A	●例年良く取り組まれている。	
・教育委員会での自己点検・自己評価を行い、外部の有識者で構成する評価委員会の意見を添えた「武雄市教育委員会点検評価報告書」を市議会へ提出するとともに、ホームページで公表します。	・評価委員会の開催 ・評価報告書の議会提出 ・評価報告書の公表				